

---

# アイデアの波に乗って

トマ兔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

イデアの波に乗って

### 【Nコード】

N7295Y

### 【作者名】

トマ兔

### 【あらすじ】

ネギ・スプリングフィールドの双子の弟として生まれた主人公。自分についての記憶がない。原作知識もない。魔法の才能もない。特別な能力はあるけどチートじゃない。

ないない尽くしの主人公。あるのは情熱だけ。  
そんなネギま！転生記

この小説は携帯で書いてるので、パソコンで読むと多分見づらい  
です。

## 一話

落ちる。

墜ちる。

墮ちる。

おちる？

上下左右前後がない空間で、ただ漠然とそんなことを思ってた。浮遊感はない。下から吹き付ける風もない。下もない。

つてか体がない。

なのに自分が今おちてることはわかる。

摩訶不思議な体験。でも何故か今までにないくらい落ち着いている。いや、違う。落ち着いてるんじゃない。余計な事を考えられな  
いだけ。

オチル。

おちル。

オチル。

堂堂巡りの思考。変わらない空間。しかし終着点が見えた。どのくらい落ちていたかわからない。“やっと”なのか“もう”なのか。

おちる。

おちる。

着いた。

「オンギヤー」

生まれ落ちるのと同時に、俺の意識は落ちた。

## 一話

最初の覚醒は突然だった。

前触れが一切なく起こったそれに少し戸惑う。頭の中が疑問で満ちないように空っぽにする。

そして最初から整理するために、まずは声を出して自己の認識。

「あ〜うう〜あ」

……よし！オツケー！

予定してた言葉より少し違う音が口から出たが問題ない。これからの事を思うと瑣末事だ。声を出すという目的は達成できているので、深く考えたらダメだ。深く考えたらダメだぞ、俺。

そして次に自己の確立。俺についての『誰』『何』をしつかり理解し、これからの……せい……り………って寝るな俺っ！！

確かに少し難しかったかもしれない。でも自己を確立する事は最優先で片付けて起きたい事だ。そうすればこれから行う整理の時に、沸いて来る疑問に対して有利に進める……こ……とが……あ………

………って何故だ！何故寝てしまっんだ俺！！

難しいのがダメなのか！！難しい事がダメなんだろ！！！！

わかった。それなら仕方ない。自己の確立なんてどうでもいい。今やるべき事はそんなことじゃない。そうだ大事なことがあった。先ず最初にこれをやるべきだった。



これはいくら考えても答えはでないだろう。一番可能性があるのは輪廻転生だが、前世の記憶を持ってというのがはなかったはず。輪廻転生は仏教の考えで、仏教の起源はバラモン教。別にどっちも熱心に信仰してた訳じゃないのに。……ん？あれ？俺って宗教どこだっけ？

……アメリカの首都は？

ワシントンD.C.

572 + 318 = ?

890

俺の誕生日は？

……

賢い人はホモ・サピエンス。なら信じる人は？

ホモ・レリギオス

万物の根源は何かという問題にタレスは水、アナクシマンドロスは無限なもの、ピタゴラスは数と答えた。では原子と答えたのは？

デモクリトス

ガンディーの非暴力抵抗方式を黒人闘争に取り入れ、人種平等・経済的平等、平和、民主主義などの実現を目指し、奴隷解放100周年1963年8月、ワシントン大行進をおこない、「私には夢がある。いつか奴隷の子孫と奴隷所有者の子孫が兄弟として同じテーブルにつく夢が」と演説したのは誰？

キング牧師





………寝るか！考えるのが無駄なら寝る方がいい。下手な考え休むに似たり。先人はいい言葉を残したよ。起きたら夢でありますよ  
うに。

### 三話

夢じゃなかった。

そして

「あうあうあう」（知らない天井だ）

ここは何処？私は誰？

最初の覚醒時は周りを見る余裕がなかったが、改めて見ると覚えのない場所に寝転がっているようだ。

もっとよく見ようと首を動かそうとするが、まだすわってないよう動かない。

でもこれで自分が今何歳なのかわかった。生後三ヶ月未満といったところか。まだ生まれたてホヤホヤだ。

現状の把握をもっとしっかりおこないたいが、最初の失敗を見習って、あまり深く考えないようにする。

それに新たな問題が二つ浮上したので、一つの事に集中してる場合じゃない。

問題一つ目、腹が減った。

最初の覚醒からのくらしい時間が経ったのかわからないが、とにかく腹が減った。でもこの身は首もすわってない赤ん坊。何もできない。

泣いたら誰か来るのかな？でもこんな成熟した精神を持っているのに泣きわめくのはちょっと気が引ける。

そう思ってた時期がありました。



あっこれは御丁寧にどうも。俺はスズナって言います。カツコイイ眉毛してますね。

初対面でこんな事頼むのは失礼になるんですが、お腹が空いてるのでご飯を用意していただければ幸いです。

「どうした？オムツか？」

いえ、腹が減ってるんです。もうお腹と背中がくっつきそうです。

「違うか……。なら寂しいのか？」

違います。ご飯を用意してください。あと人のケツを勝手に触るのはやめろ。

「ホレホレ、お母さんはここだぞ。」

あやされても腹は膨れねえよ。さっさと飯持ってこい。

「イナイイナイイバア〜」

いいかげんにしろおお！！！！！こっちは死活問題なんだよ！！！！てめ

えのつまらなえギャグ見てる暇ねんだよ！！腹が減ったって言うてんだろ！！！わかつたらさっさと飯持つてくるか、その枝分かれした不思議眉毛剃り落としてこい！！！！

「これもダメか……。あつ腹が減ったのか？」

やっとわかったか。わかつたんならさっさとミルク持つてこい。口ツクで。

人肌に冷ますの忘れんなよ。

「ちよっと待つておれよ。」

待つよ。いくらでも待つ。だから早く持つて来てくれ。

ん？何ゴソゴソしてんだよ。俺の事は一旦ベッドに置いて、用意しにいけよ。

「ホレ、いっぱい飲むんだぞ」

……俺が悪かった。全てを謝ろ。

母乳かよ！クソツタレエエエ！！！！  
ちよつと待て！それはダメだ！ホントにダメだ！！何がダメかって  
全てがダメだ。

確かに体は首もすわってない、生後三ヶ月未満の赤ちゃんだ。でも  
精神は違う！エピソード記憶がぶっ飛んでるので自分が何歳かわか  
らないが、多分成人してるぞ。現に事態に陥るまで母乳の事なんか  
頭からすっかり抜け落ちていた。そして年頃の女の人から授乳する  
事に激しく抵抗している。ってか離乳は一歳三ヶ月ころから開始す  
る。ここまで複雑な思考ができて、前世は一歳ですなんてことはな  
いはずだ。

「フフツあまり強く吸い付くでないぞ。」

おいしいい！！もう目の前にあるうう！！！！ヤツベ、すっげーピン  
ク色。そうじゃねーよお！！お願い！！一生のお願い！！！！生後三  
ヶ月未満だけど、一生のお願い使っちゃう！それだけはっ！！それ  
だけはやめてっ！！！！なんでもするからっ！！初めて喋る言葉は  
マンマにするし。夜泣きもしない！！だからそれだけはっ！！

おいっ！バカっ！やめっ…

チューチューゴクゴク

チューチューゴクゴク

チューチューゴククン

ゲプッ

もう何も怖くない



さて腹も膨れたし二つ目の問題について考えようか。

それは違和感があるのだ。

いや赤ちゃんになつてゐる事がすでにおかしいんだが、エピソード記憶がぶつ飛んでるおかげで自分が赤ちゃんになつてゐる事についてはそこまで大きな違和感を感じない。あと俺の言葉遣いが定まらないのは、未発達の頭に成熟した精神が合つてないんだらう。子供はすぐ泣くし、すぐ笑うし、すぐ怒る。子供の激しい感情の起伏が中途半端に精神に反映されてゐるみたいだ。

じゃあ何が違和感になつてゐるかというところ、何かあるのだ。何かとは随分漠然とした言い方なんだが、何かとしか言いようがない。

自分の体の中に二つ。そして自分の周りにも感じる事ができる。

体の中にある二つの内一つは、周りにあるものと一緒。いや周りにあるものを吸収してゐるのか？

もう一つはヘソの下あたりから湧き出てるようだ。

全くわからん。

わかる事と云つたら、この二つはさつき俺を凌辱したお母さんから感じた事。

特別なものではないのか？

それとも俺とお母さんが特別なのか？

情報が少なすぎるから判断に困るな。

もつと考えたいが時間だ。子供の仕事はよく食つて、よく寝て、よく出す。さつき満腹になつたので眠たくなつてきた。

今度こそ起きたら夢才子でありますように。

### 三話（後書き）

アリカ登場

口調はこれでいいの？アリカって金髪だっけ？ってかいつ頃ネギを村に預けたの？

wiki頼りなので合ってるかわかんない。  
来月に漫画買う予定です。

そして主人公の名前判明。

大体ほかの二次創作ではアリカから名前を取っているんですが、この小説ではスプリングフィールドから取りました。

スズナっていうのはカブの別称です。そしてカブは春の七草の一つです

理由はほかの作品との差別化っていうのが大きな理由なんですけど、災厄の魔女って呼ばれてる自分の名前から取って子供の名前つけるかなあって思ってます。

まあ名前なんてどうでもいいんですけどね。

最後に主人公が感じた違和感の正体は気と魔力です。

ほとんどの人がわかったと思いますけど。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7295y/>

---

イデアの波に乗って

2011年11月28日03時46分発行